

日本語

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京都美術館

「日本語」



ご案内／展覧会

2025.7 ~ 2025.12



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



東京都美術館の使命

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、
芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる——、
すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。
新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、
「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。
そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京都美術館の歩み

1926(大正15)年 ▶ 東京府美術館の創設



実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円(現在の40億円相当)の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943(昭和18)年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

佐藤慶太郎(さとう・けいたろう)

1868(明治元)年 - 1940(昭和15)年。北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王アンドリュー・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じた。



1975(昭和50)年 ▶ 新館の開館

旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書室など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995(平成7)年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。



2012(平成24)年 ▶ リニューアルオープン

多くの人々に親まれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。

つくるよろこび 生きるためのDIY

Pleasure in Making: The Creative Spirit of DIY for Living



瀬尾夏美《地底に咲く》2015年 作家蔵

2025年7月24日(木)～10月8日(水)

DIY(Do It Yourself / 自分でやってみる)の手法や考え方に関心を寄せる、5組の現代作家と2組の建築家を紹介します。

出品作家(五十音順):伊藤聡宏設計考作所、スタジオメガネ建築設計事務所、瀬尾夏美、ダンヒル&オブライエン、野口健吾、久村卓、若木くるみ

上野アーティストプロジェクト2025

刺繍—針がすくいだす世界

Ueno Artist Project 2025: Embroidery—Expression of Life from the Rhythm of a Needle



Photo: Shizuka Suzuki

2025年11月18日(火)～2026年1月8日(木)

公募団体などで活躍している作家を紹介する展覧会シリーズの第9弾。「刺繍」や「刺子」とよばれるような、布に針で糸を刺す／縫いつける技法を用いて表現活動を展開してきたつくり手たちに注目します。

岡田美佳《ハーブの庭》1996年 作家蔵

ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢

Van Gogh's Home: The Van Gogh Museum.
The Painter's Legacy,
the Family Collection, the Ongoing Story

2025年9月12日(金)～12月21日(日)

フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)の没後、その作品の多くは弟テオ、その妻ヨー、夫妻の息子フィンセント・ウィレムら家族によって、今日に受け継がれてきました。本展では、そのファミリー・コレクションを紹介します。

フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》1887年12月-1888年2月
ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)



刺繍がうまれるとき

—東京都コレクションにみる日本近現代の糸と針と布による造形

When Embroidery is Born
—Modern & Contemporary Thread, Needle and Fabric Creations from the Tokyo Metropolitan Collection

2025年11月18日(火)～2026年1月8日(木)

都立美術館、博物館が所蔵する様々なジャンルの資料を用いて、日本近代以降の「刺繍」の展開と、そこに託された人々の思いをたどります。さらに、「刺繍」の技法を用いた現代作家たちの表現にも注目します。

高田安規子・政子《ジョーカー》2011年 東京現代美術館蔵

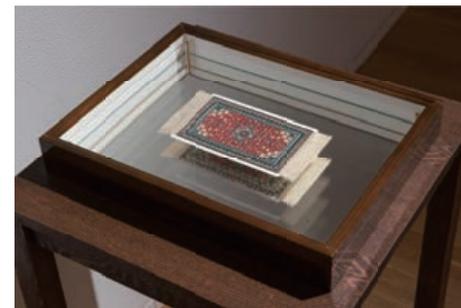


Photo: Ichiro Otani

公募団体展・学校教育展

開館以来、美術や書などの公募団体に、作品発表の場を提供しており、現在は年間約260団体が「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

収蔵品の紹介

東京都美術館では、野外彫刻等の立体作品13点と書作品36点を収蔵しています。



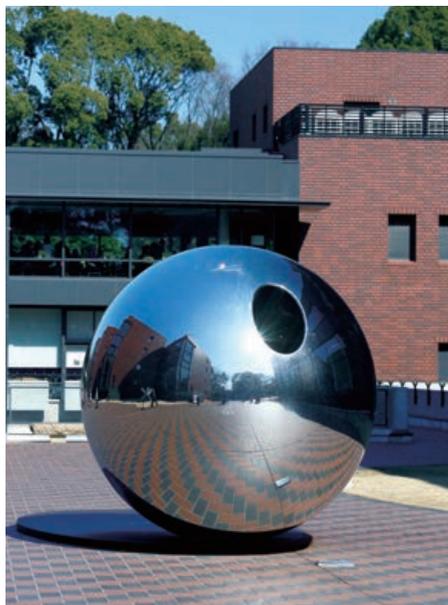
青山杉雨〈車馬器々〉



鈴木久雄〈P 3824 M君までの距離〉1977年



最上壽之〈イロハニホトチリヌルヲフカヨタルソネ……〉1979年



井上武吉〈my sky hole 85-2 光と影〉1985年

カレンダー

- 全館休館日 → 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)、整備休館、年末年始
- 特別展・企画展休室日 → 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
- 夜間開館日 → 9:30-20:00(入館は閉館30分前まで)

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7 JUL	ミロ展																														
	都美セレクショングループ展											つくるよこび 生きるためのDIY																			

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8 AUG												つくるよこび 生きるためのDIY 2025年7月24日(木)～10月8日(水)																			
	アート・コミュニケーション事業を体験する2025 2025年7月31日(木)～8月10日(日)																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
9 SEP												ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢 2025年9月12日(金)～12月21日(日)																		
												つくるよこび 生きるためのDIY 2025年7月24日(木)～10月8日(水)																		

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10 OCT												ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢 2025年9月12日(金)～12月21日(日)																			
	つくるよこび 生きるためのDIY																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
11 NOV												ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢 2025年9月12日(金)～12月21日(日)																		
												上野アーティストプロジェクト2025																		
												コレクション展																		

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12 DEC												ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢 2025年9月12日(金)～12月21日(日)																			
												上野アーティストプロジェクト2025 2025年11月18日(火)～2026年1月8日(木)																			
												コレクション展 2025年11月18日(火)～2026年1月8日(木)																			

※最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

アート・コミュニケーション事業

アートを媒介として、人々のつながりをはぐむ活動をしています。

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなプログラムを実施しています。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト



東京都美術館と東京藝術大学、一般公募のアート・コミュニケータ(とびラー)が協働して行っている「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」です。美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、さまざまな価値観を持つ多様な人々を結びつけるコミュニティのデザインに取り組んでいます。



国立科学博物館 ©Yusuke Nakajima

上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、こどもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援。こどもと大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。年間を通じて、小・中・高校生がミュージアムを活用することを目的としたプログラムを行っています。



シニアになっても「ずっと」アートや美術館が暮らしの中にあるように、老いや年齢に関わらずさまざまな年代の人々が、創造的に作品と出会う機会をつくる事業です。東京都美術館と東京藝術大学が連携して参加型のプログラムをつくっています。



2012年に始まったアート・コミュニケーション事業の歩みや実践を、体験を通じて紹介し、事業についてより多くの方々に知っていただく機会として、毎年夏に「アート・コミュニケーション事業を体験する」を開催しています。当館のロビー階第3公募展示室を会場に、作品を介したコミュニケーションや参加型プログラムが楽しめる展覧会です。会場にはアート・コミュニケータ(とびラー)及び任期満了したとびラーが常時滞在します。

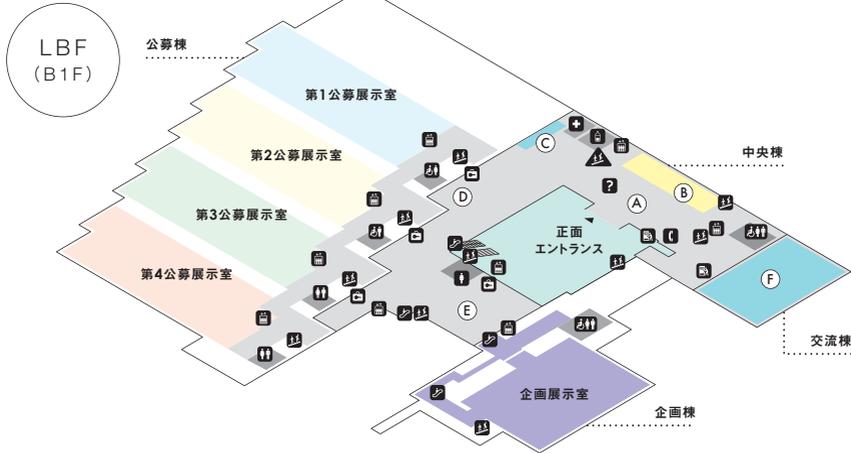


©Yusuke Nakajima

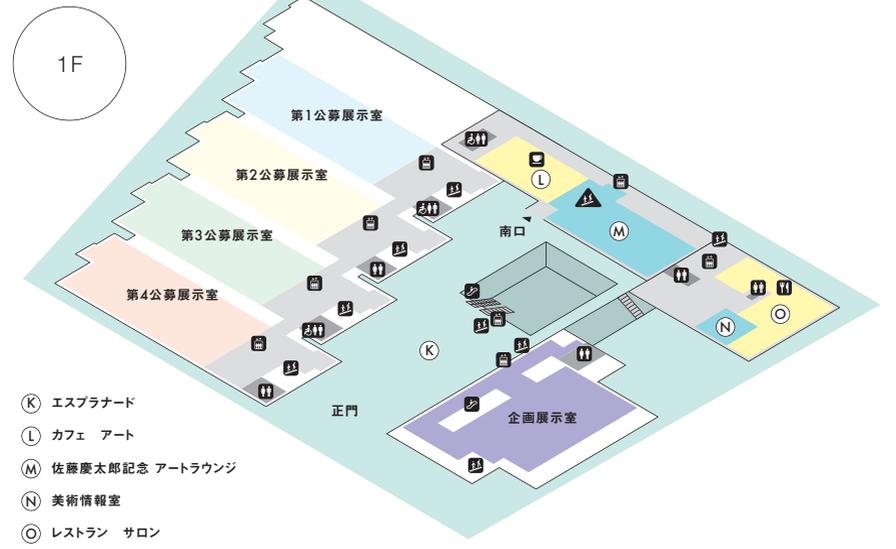
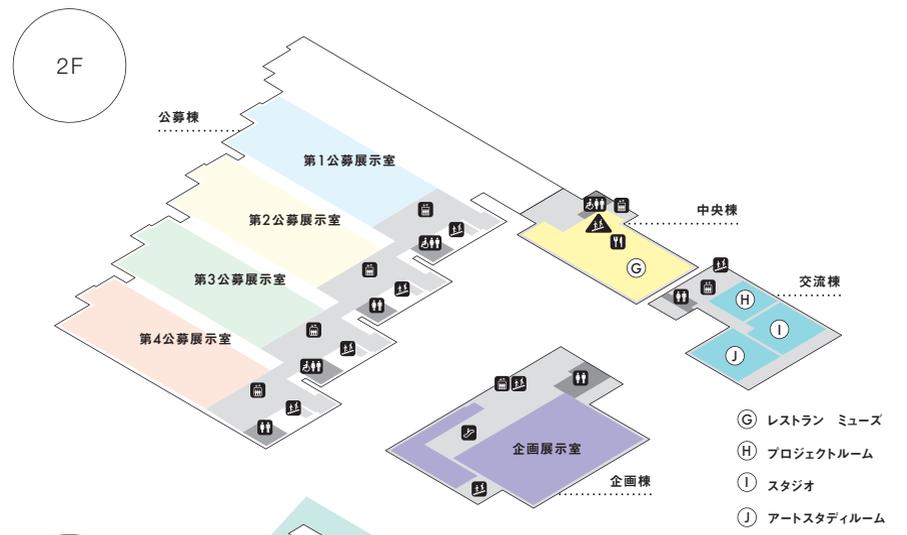
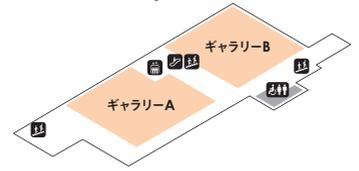
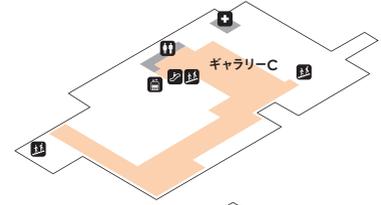
©Yusuke Nakajima

館内のご案内

- | | |
|-----------|---------|
| インフォメーション | エレベーター |
| トイレ | エスカレーター |
| 車椅子用トイレ | 階段 |
| ロッカー | カフェ |
| 救護室 | レストラン |
| 授乳室 | 自動販売機 |
| | 公衆電話 |



- (A) エントランスロビー
- (B) ミュージアムショップ
- (C) チケットカウンター
- (D) 公募棟ホワイエ
- (E) 企画棟ホワイエ
- (F) 講堂



館内施設のご案内

アメニティ事業

ミュージアムショップ

オリジナルグッズから伝統工芸品まで、日々を豊かに彩るアイテムを取り揃えています。

面積：127㎡ / Tel. 03-5685-9110



中央棟LBF(B1F)

RESTAURANT MUSE (レストラン ミュース)

洋食を中心に和食、キッズメニューも。お気軽にご利用いただけるカジュアルレストラン。

面積：481㎡ / 席数：200席 / Tel. 03-5832-5551



中央棟2F

RESTAURANT salon (レストラン サロン)

本格フレンチダイニングをご提供。席の予約ができ、個室のご用意もあります。

面積：249㎡ / 席数：50席 / Tel. 03-5832-5101



交流棟1F

cafe Art (カフェ アート)

コーヒーやスイーツ、軽食をご用意。アートの合間にほっとひと息。

面積：103㎡ / 席数：50席 / Tel. 03-5832-5566



中央棟1F

佐藤慶太郎記念 アートラウンジ

北欧デザインの椅子に座ってゆっくり休憩できるラウンジです。

面積：391㎡ / 席数：46席



中央棟1F

美術情報室

美術図書・図録・雑誌などをゆっくり閲覧できるライブラリー。

面積：88㎡ / 席数：14席 / 蔵書冊数：約6万点



交流棟1F

貸出施設

講堂

講演会やシンポジウム、授賞式などが行えます。

面積：284㎡、舞台30㎡ / 定員：230名
(固定椅子225席+車椅子用スペース5席)



交流棟LBF(B1F)

スタジオ

会議や制作などを行う多目的室です。

面積：146㎡ / 定員：50名



交流棟2F

アクセシビリティ

車いすをご利用の方へ

館内でご利用いただける車いすの貸出をしています。車いす対応トイレも各フロアにあります。

車いす：28台(自走介助兼用) / 無料



インフォメーションにて貸出

小さなお子さま連れの方へ

個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。

ベビーカー：5台(対象月齢1～48か月) / 無料



インフォメーションにてご案内

だれでもトイレ

大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。



インフォメーションにてご案内

コミュニケーション

インフォメーションでは、英語、中国語に対応しています。また、コミュニケーションボードのご用意のほか、土日は手話でご案内をしています。



インフォメーションにてご案内

ご利用案内

[開館時間] 9:30 - 17:30

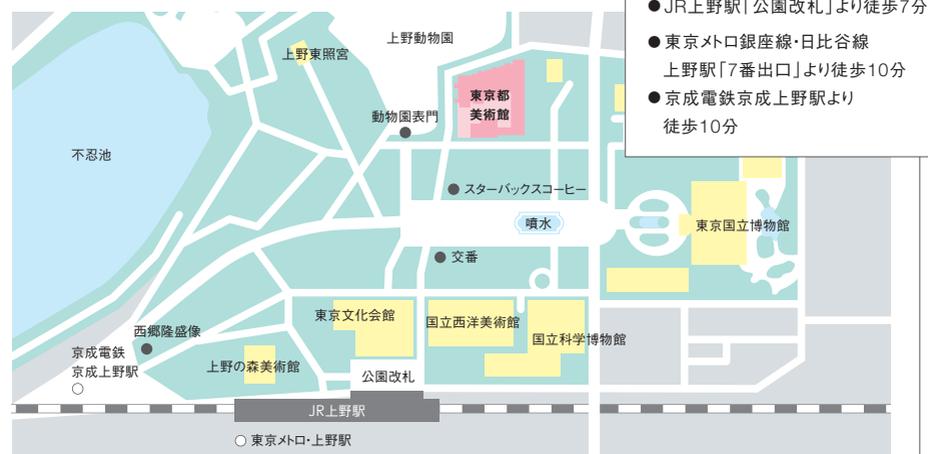
※特別展開催中の金曜日は9:30 - 20:00 ※いずれも入館は閉館時間の30分前まで

[休室日] 特別展・企画展：月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)

上記以外の展覧会：第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)

[全館休館日] 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日) / 年末年始、整備休館

[入館料] 無料。観覧料は展覧会ごとに異なります



- JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩10分

※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。

施設概要

○敷地面積：16,638.84㎡ ●建築面積：7,999.47㎡ ●延床面積：37,748.81㎡

[企画展示室] ●LBF(B1F)：709㎡ ●1F：713㎡ ●2F：714㎡ ※天井高4.5m

[公募展示室] ●LBF(B1F)第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●1F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●2F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ※全12室、天井高4.8m

[ギャラリー] ●A(B3F)：412㎡、天井高9.9m ●B(B3F)：303㎡、天井高3m ●C(B2F)：470㎡、天井高2.4m / 5.8m

 東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

Tel. 03-3823-6921 / Fax. 03-3823-6920

[ウェブサイト] <https://www.tobikan.jp>

[X(旧Twitter)] [tobikan_jp / tobikan_en](https://twitter.com/tobikan_jp)

[Facebook] [TokyoMetropolitanArtMuseum](https://www.facebook.com/TokyoMetropolitanArtMuseum)

発行日 2025年7月31日

発行 東京都美術館
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

デザイン opportune design Inc.

印刷 望月印刷株式会社

© Tokyo Metropolitan Art Museum

最新情報は、当館ウェブサイトでご確認ください。



館発行の広報誌「東京都美術館ニュース」も是非ご覧ください。



東京都美術館

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



ご案内／展覧会：2025.7～2025.12

久村卓〈PLUS_Ralph Lauren_yellow striped shirt〉2025年